

青森大学社会学部

地域課題を解決し、
社会の未来をつくる自分に出会う

むつキャンパスの社会福祉コースの学生が、（公社）青森県社会福祉士会(下北支部)の方と座談会を行いました。



6月29日（木）青森大学むつキャンパスにて、社会学科1年生（社会福祉コース）の3名の学生と、（公社）青森県社会福祉士会の下北支部の会員である納谷氏と築館氏（本学社会学部卒業生）が、座談会を行いました。学生はそれぞれ現役の社会福祉士さんが、どのような理由で社会福祉の分野を目指したのか、また現在の仕事の様子などを、質問を交えながら熱心に聞いていました。

また、むつ下北地域の社会福祉実践現場の見学や、イベントなど社会福祉士の皆さんと一緒に取り組んでいくことについても、意見交換しました。この座談会は、今後も定期的に行う予定です。

元気に頑張っています！～留学生へのインタビュー～

社会学部青森キャンパスに在籍中の留学生、ハウシオさん（社会福祉コース3年生）とチョウゲイキョウさん（社会福祉コース2年生）に青森大学での学生生活について話を聞きました。二人は、「同級生が親切で、日本語を話す機会が増えた。」「青森は静かで勉強に集中で



きる。」と話してくれました。現在二人は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を目指して勉強中です。今秋には、福祉現場で実習を行う予定です。

社会学部での活動の一部をご紹介します！

卒業論文のゼミ合同 中間報告会を行いました



7月18日（火）3, 4限に4年生ゼミの3つのゼミ（藤ゼミ、柏谷ゼミ、木原ゼミ）が合同で卒業論文の中間報告会を開催しました。ゼミ生のうち5名の4年生が自分の卒業論文のテーマについて、その目的や研究方法、現段階で調べていること、今後の予定などを報告しました。報告に対して、学部長や学科長、ゼミの担当教員からの助言の他、出席学生からも質問や意見が活発に出されました。4年生は本日の中間報告会で得たアドバイスや意見をもとに、さらに内容をブラッシュアップし、11月下旬の提出期限までに卒業論文の完成を目指します。

授業紹介

コミュニティ創生コース： 地方自治と地域政策

『地方自治と地域政策』の授業では、担当教員からの一方的な講義だけではなく、「地方自治」を実際に担う、地方自治体の首長、職員、地方議会の議員、NPO等でまちづくりに関わる市民の皆さんに、ゲストスピーカーとしていらして頂き、自治の現場の生の話を聞くことが出来ます。2022年度は、宮下宗一郎青森県知事（当時むつ市長）、西秀記青森市長（当時青森商工会議所副会頭）の話を聞いたり、2023年度には、青森市議会総務企画常任委員会の議員の皆さん8名と、「若者の政治参加」をテーマに意見交換、ワークショップを行ったりしています。

